

街路事業

うつのみや

宇都宮都市計画道路3・3・1号

かぬまうつのみや

鹿沼宇都宮線

(主要地方道 宇都宮真岡線)

しもぐりまち
下栗町工区

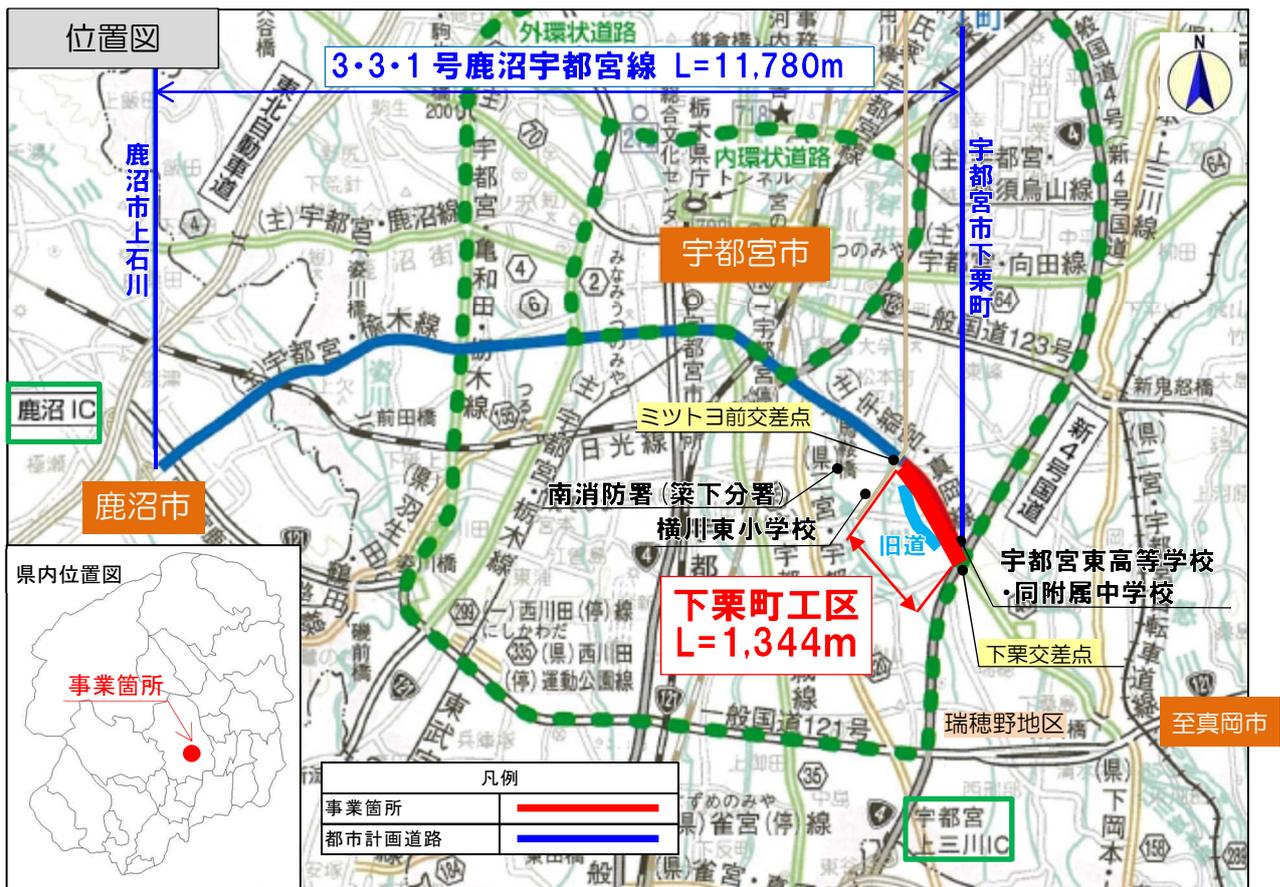
(平成30(2018)年3月 供用)

1. 事業概要

宇都宮都市計画道路3・3・1号鹿沼宇都宮線は、東北自動車道鹿沼ICと新4号国道を結び、宇都宮市街地の都市活動を支え、鹿沼市、宇都宮市、真岡市の連携を図るうえで重要な幹線道路である。また、地域間の物流や通勤、通学等の日常生活を支えるとともに、第二次緊急輸送道路に指定された、災害時の避難支援、応急活動のために重要な路線である。

しかしながら、本路線の現道は交通量が非常に多いにもかかわらず、右折車線が無い2車線道路であるため、慢性的な交通渋滞が発生していた。また、横川東小学校と宇都宮東高等学校・同附属中学校の通学路でありながら歩道が無いことから、自動車、自転車、歩行者が混在する危険な状況であったため、自転車・歩行者の安全確保が望まれていた。

このため、栃木県では、「都市間の連携の強化」、「交通渋滞の緩和」、「安全で快適な通行空間の確保」、「救急救命活動や都市防災機能の強化」を目的として、平成17年度から事業に着手し、平成30年3月に供用を開始した。



- ◆事業名：街路づくり事業
- ◆事業主体：栃木県
- ◆事業箇所：宇都宮都市計画道路 3・3・1 号鹿沼宇都宮線
主要地方道宇都宮真岡線
宇都宮市下栗町しもぐりまち
- ◆全体延長：L=1,344m
- ◆幅員：W=25.0m（車道 3.25m×4、自転車歩行者道 3.5m×2）
- ◆総事業費：約 50 億円
- ◆事業期間：平成 17 年度～平成 29 年度（供用開始：平成 30 年 3 月）

2. 事業の目的・必要性

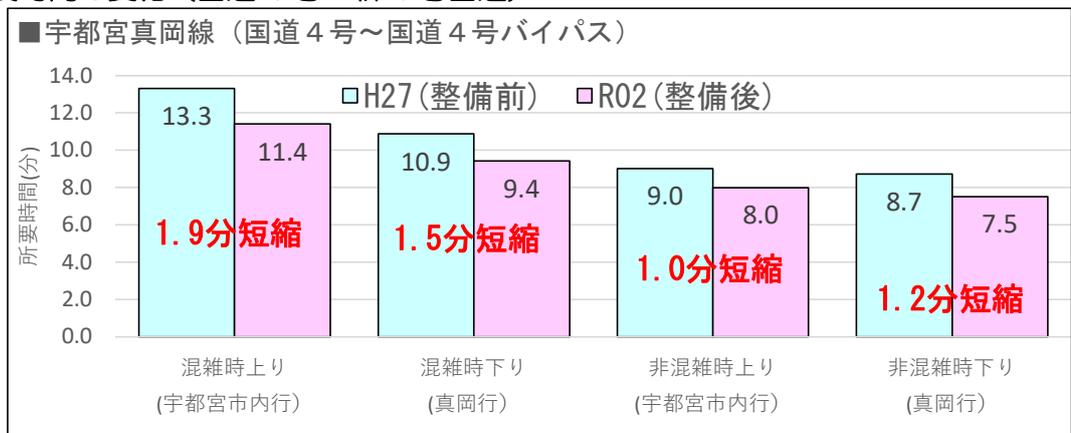
- (1) 都市間の連携の強化
- (2) 交通渋滞の緩和
- (3) 安全で快適な通行空間の確保
- (4) 救急救命活動や都市防災機能の強化

3. 事業の整備効果等

(1) 都市間の連携の強化

- 1) 下栗町工区の整備に伴い、国道 4 号から新 4 号国道の所要時間が短縮していることから、都市間の連携が強化されている。

○所要時間の変化（国道 4 号～新 4 号国道）



出典：宇都宮土木事務所調査

- 2) 整備後、交通量が 1.3 倍以上増加し、都市間連携の強化が交通量の増加に現れている。

○交通量の変化（ミットヨ前交差点西側）

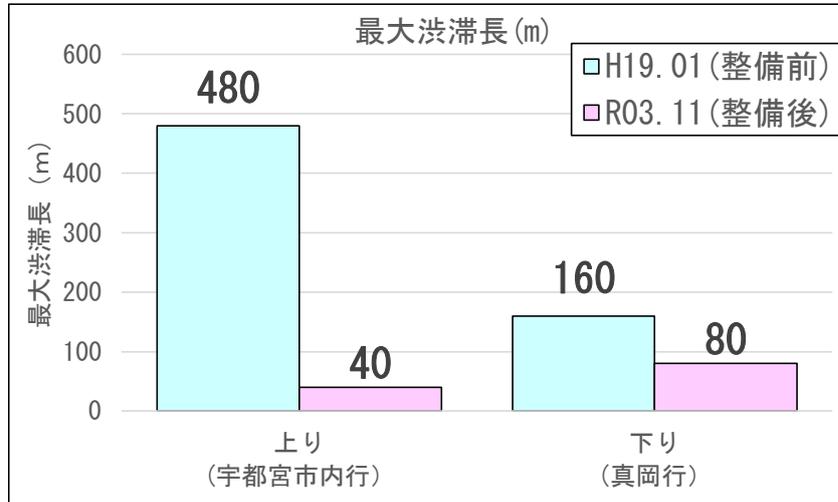


出典：道路交通センサス、宇都宮土木事務所調査

(2) 交通渋滞の緩和

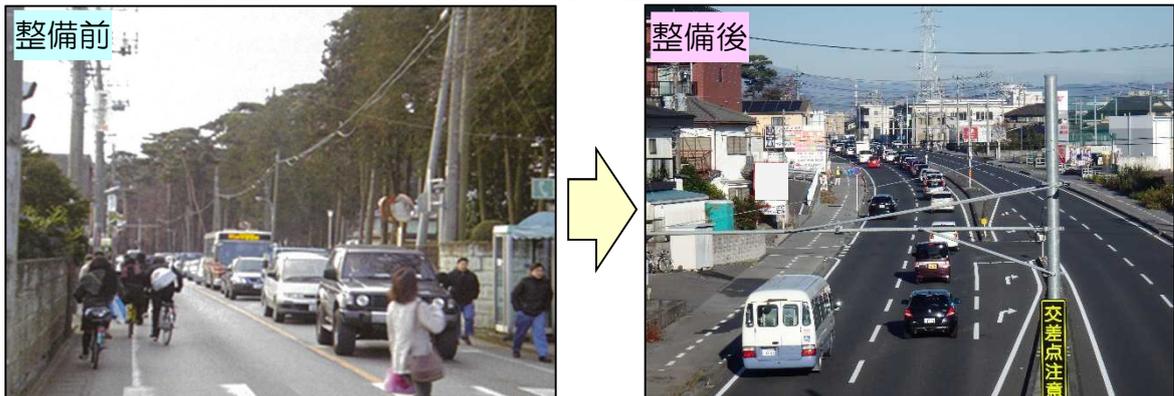
2車線から4車線に拡幅されたことで、「ミットヨ前交差点」の最大渋滞長は上り・下りともに大きく減少している。

○ミットヨ前交差点の最大渋滞長



出典：宇都宮土木事務所調査

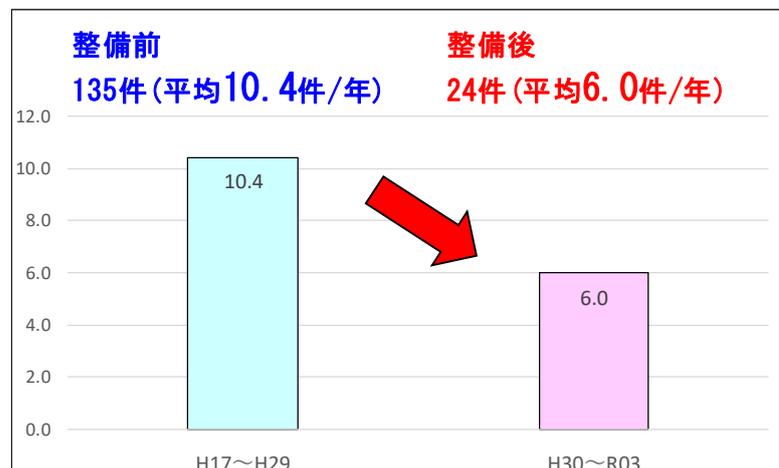
○ミットヨ前交差点の渋滞状況（上り：宇都宮市内行）



(3) 安全で快適な通行空間の確保

1) 車道の4車線化や広い歩道・自転車道を整備したことで、整備前よりも交通事故発生件数は減少しており、地域の安全性は向上している。

○交通事故発生件数の推移（下栗町工区「現道」と「バイパス」の合計）



出典：H17.1~H26.12：宇都宮土木事務所調査

H27.1~R03.10：栃木県警ホームページ「交通事故発生状況マップ」

2) 歩道が整備されていない旧道の交通量は、バイパスへ転換したことで減少し、歩行者、自転車の安全性が向上している。

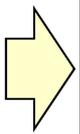
○旧道の交通量

単位 (台/昼間 12 時間)

調査年月	小型車	大型車	合計
H19.01 (整備前)	11,045	1,007	14,071
R03.11 (整備後)	1,719	60	1,779
減少率	- 84.4%	- 94.0%	- 87.4%

出典：宇都宮土木事務所調査

○旧道の交通状況



(4) 救急救命活動や都市防災機能の強化

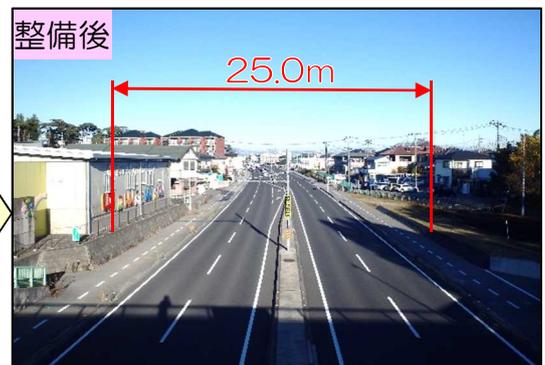
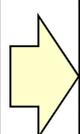
1) 宇都宮南消防署（築下分署）へのヒアリングの結果、整備前と比べて、現場到着時間の短縮や搬送経路の安全性が向上されていることから、救急救命活動に寄与していることが確認できた。

○宇都宮南消防署（築下分署）へのヒアリング

- 整備前と比べて、消防署から瑞穂野方面への現場到着時間は、通勤時間帯に約2～3分短縮している。
- 下栗町工区はこれまでの搬送経路と比べて安全に走行でき、時間帯を気にすることなく、順路を選定できるようになった。

2) 整備前と比べて道路総幅員が拡大したことで、都市防災の機能強化に寄与している。

○道路幅員の変化

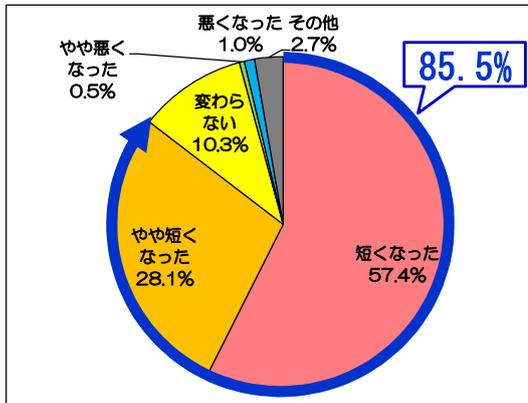


4 地元の声（アンケート結果）

3・3・1号鹿沼宇都宮線下栗町工区の整備効果を検証するため、周辺の地域住民や公共施設、学校、企業等を対象に、アンケート調査を実施しました。

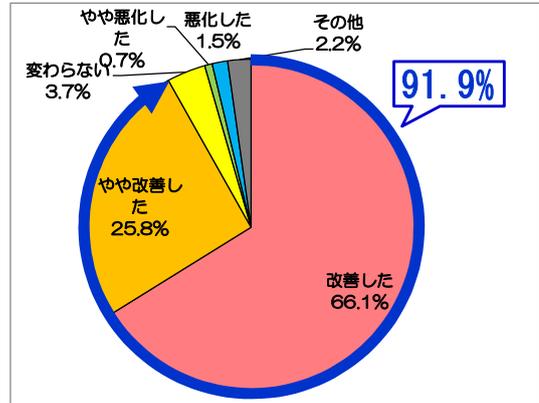
（回答数418枚 / 配布数982枚：回収率42.6% ※有効回答数は設問により異なります。）

(1) 宇都宮市街地、真岡方面への移動時間



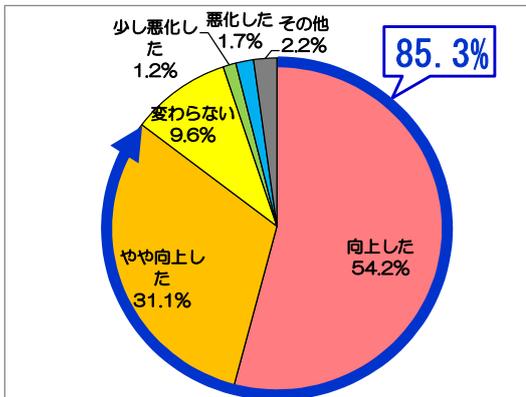
利用者の約86%が、整備前と比べて、宇都宮市街地や真岡方面への移動時間が短縮したと感じている。

(2) 混雑の改善



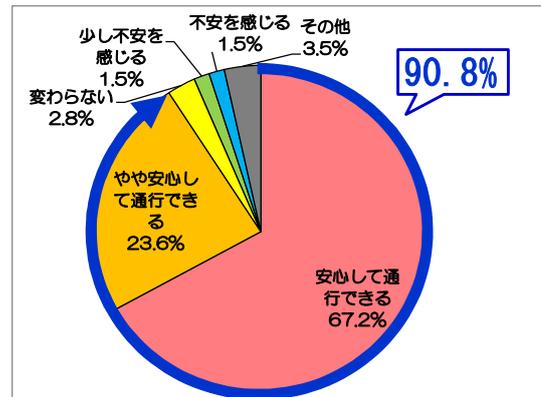
利用者の約92%が、整備前と比べて、混雑が改善したと感じている。

(3) 日常生活の利便性や業務効率



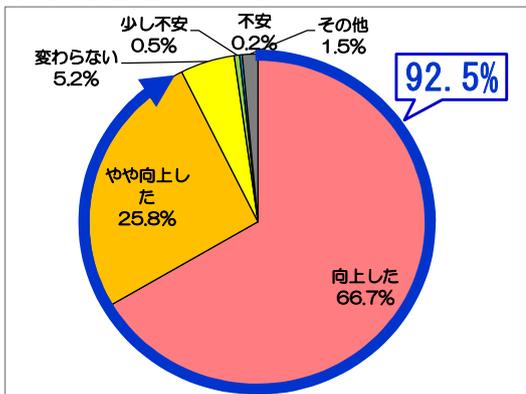
利用者の約85%が、整備前と比べて、日常生活の利便性や業務効率が向上したと感じている。

(4) 徒歩、自転車通行時の安心感



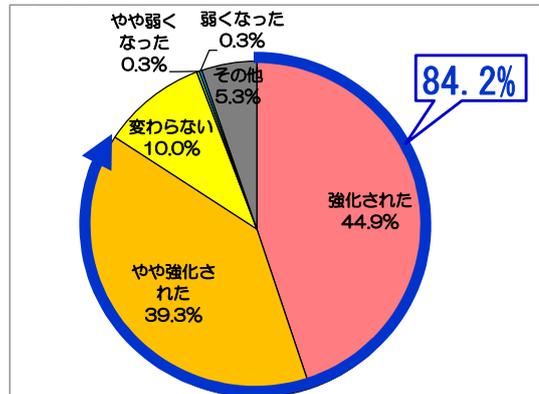
利用者の約91%が、整備前と比べて徒歩や自転車で通行時の安心感が向上したと感じている。

(5) 緊急時の安心感



利用者の約93%が、緊急車両を呼ぶ事態を想定した場合の安心感が向上したと感じている。

(6) 防災機能の強化



利用者の約84%が、整備前と比べて防災機能が向上したと感じている。

(7) 自由意見（意見の多かった内容等）

◇整備されてよかった。便利になった。

◇安心して通行できるようになった。

◆下栗交差点では南進右折車が渋滞している。新4号国道側道から右折する際、走行位置がわかりづらい。

◆バス停が旧道から移設されたことで、不便になった

5. 今後の事後評価の必要性及び改善措置について

本事業の整備に伴い、「①都市間の連携の強化、②交通渋滞の緩和、③安全で快適な通行空間の確保、④救急救命活動や都市防災機能の強化」等の効果が発現していることが確認できた。また利用者アンケート調査からも事業の効果を確認できた。このことから、今後の事後評価の必要性はないと考える。

ただし、「下栗交差点では南進右折車線の渋滞が発生」しており、「新4号バイパス側道から右折時の走行位置がわかりづらい」といった意見があったため、道路事業として整備中の宇都宮真岡線国道4号バイパス東側の整備と合わせて、信号現示の最適化を図る等、国土交通省や警察と連携して改善を図っていく。

また、「バス停の利用が不便になった」との意見については、今後の道路利用状況により、さらなる改善の必要性が生じた場合には、地元住民やバス事業者と協議し対応していく。

6. 同種事業への反映

本事業は25mの広幅員道路を密集市街地内に整備するため、地元企業や幼稚園、学校、病院など用地交渉に長い期間を要した。

しかし、横断歩道橋やバスベイ等の整備要望について事業計画に組み入れるなど丁寧に対応したことで、地元との連携を深め、地元ニーズに即した整備を行うことにより理解が得られた。また、横断歩道橋が完成した際には、地元幼稚園児の渡り初めを行うなど、交渉完了後も地元との密接な関係を保つことにより、維持管理工事等の協力を得られやすいよう努めてきた。



今後、同種事業を実施する際には、街路事業として、まちづくりと一体となり整備すべき箇所や、都市機能の強化を図る都市環状及び都市放射機能を有した箇所を優先的に選定することとし、更に地元との連携を深めて地域ニーズに即した整備を行なうなど、限られた予算の中で事業の効率性を高め、早期に事業効果が発揮できるように努めていく。

栃木県 県土整備部 都市整備課

TEL : 028-623-2475 FAX : 028-623-2477
HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h09/index.html>
E-mail : tseibi@pref.tochigi.lg.jp

VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ